

VIAVI

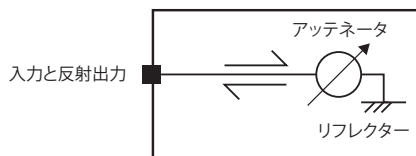
可変後方反射器 (mVBR-C1)

MAP シリーズ計測グレード光後方反射器

MAP シリーズ可変後方反射器 (mVBR-C1) カセットは、トランスミッタに正確なレベルの反射損失を提供し、後方反射の関数としてシステム感度とシステム劣化の測定を可能にします。



トランスミッタ/レシーバのペアおよび特性評価装置とともに、MAP 後方反射器を使用して、伝送システムのパフォーマンスを大幅に低下させる反射の大きさを定め、それらが引き起こす問題を特性評価することができます。



MAP 後方反射器は、VIAVI リニアアッテネータプリズムと高反射ミラーを使用して、RL のレベルを正確に制御します。

カセットは、シングルモード (SM) またはマルチモード (MM) ファイバーで利用でき監視用のオプションのカプラーが付属しています。

利点

- シングルモードバージョンとマルチモードバージョン
- MAP シリーズのメインフレーム LXI 準拠のインターフェイスおよび IVI ドライバーと併用すると自動化が可能
- 他の MAP シリーズモジュールと組み合わせて、IEEE 標準テストを実行可能
- 0.002dB の分解能
- 850/1310 または 1310/1550nm での動作

アプリケーション

- トランスミッタ/レシーバの開発とテスト
- コネクタの反射テスト
- 品質保証受入テスト
- レーザーの開発と製造
- RL 機器を検証するための検証機器
- R&D コンプライアンステスト
- OTDR 測定

安全性に関する情報

CE、CSA/UL/IEC61010-1、LXI クラス C 要件に準拠 (MAP シャーシに装備した場合)

機能/性能

伝送システムでは、後方反射によるパワー変動が信号を歪め、ビット誤り率の増加を引き起こします。これは、後方反射の関数として測定できます。

MAP シリーズ mVBR カセットは、トランスミッタまたはレーザーの性能に対するさまざまな後方反射信号の影響を調べるために使用されます。図 1 は、mVBR カセットと外部カプラーを使用した代表的なテスト構成を示しています。この構成では、カプラーは光源から注入された光を分割し、その一部を mVBR に送信し、残りをテストシステムに送信します。

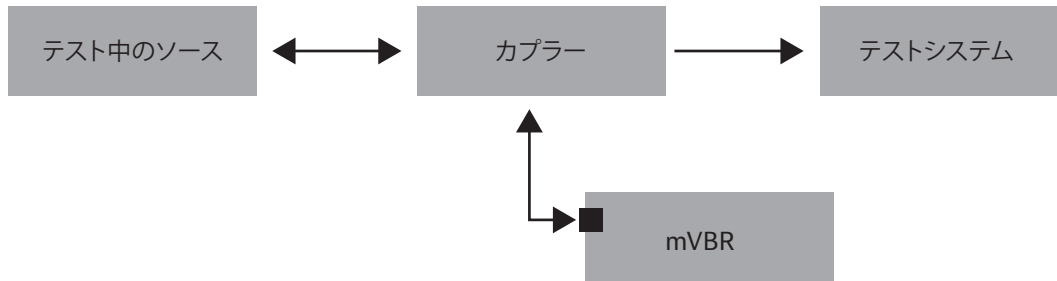


図 1 - テスト構成 - mVBR カセットと外部カプラー

オフセット設定を mVBR に設定して、コネクタで発生する損失と、ソースと mVBR の間の追加コンポーネントを介して発生する損失を補正できます。

直感操作のグラフィックユーザーインターフェイス (GUI) は、使用環境 (実験室または製造環境) に合わせて最適化できます。

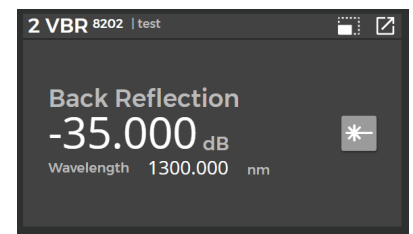


図 2: mVBR MAP-300 のサマリービュー GUI

シャーシ(本体)とモジュール(カセット)式ファミリー

VIAVI のマルチアプリケーションプラットフォーム (MAP) は、2 つ、3 つ、または 8 つのアプリケーションモジュールを搭載可能なシャーシから成るモジュール式光テストおよび測定プラットフォームで、ラック搭載式のものと同型があります。LightDirect ファミリーのモジュールには、制御がシンプルで、単一機能であるという特徴があります。モジュールは個別に使用することも、組み合わせることで多様な光テストアプリケーションを形成することもできます。Web 対応のマルチユーザーインターフェイスはシンプルで直感的です。LXI は SCPI ベースの自動化ドライバーおよび PC ベースの管理ツールのすべてに対応しており、VIAVI MAP は実験室から製造環境まで使用状況に合わせて最適化できます。

SOA は LightDirect モジュールファミリーの一部です。MAP シリーズは、光源や偏光スクランブラー、パワーメーター、スペクトラムアナライザなどのその他の多くのモジュールと組み合わせることで、光通信システムや光モジュールのテストに最適なモジュール式プラットフォームとなります。

mVBR は、SCIPi コマンドを介して現在のすべての MAP-300 および MAP-200 シャーシと互換性があります。MAP-300 には GUI も提供されています。



Light Direct

仕様

パラメータ	シングルモード	マルチモード
波長レンジ	1260~1650nm	750~1350nm
最大後方反射レベル	- 5.0dB	
最小後方反射レベル	- 60dB	- 35dB
後方反射分解能	0.005	
再現性 ^{2,3,4}	±0.02dB	
絶対後方反射精度 ^{1,2,3}	±0.3dB	±0.6dB
相対後方反射設定精度 ^{1,2,3}	±0.05dB	±0.35dB
偏光依存型後方反射 ¹	< 0.15dB	該当なし
最大光入力パワー	200mW	
ファイバータイプ	9/125μm	50/125μm
コネクタタイプ	FC/APC	FC/PC
ウォームアップ時間	30 分	
校正期間	1 年	
動作時湿度	15~80% RH、0~40℃ 結露なし	
動作温度	0~50℃	
保管温度	-30~60℃	
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)	4.1 x 13.3 x 37.0cm (1.6 x 5.22 x 14.58 インチ)	
重量	1.1kg (2.42 ポンド)	
校正期間	1 年	

1. SM バージョンの場合は 1310nm±15nm および 1550nm±15nm、MM バージョンの場合は 850nm±15nm および 1300±15nm

2. 23 ±5℃ にて

3. ソース線幅 > 500MHz

4. ランダム設定で区切られた 25dB の連続後方反射設定間の最大測定差 100 回の測定で観測

オーダー情報

本製品または本製品の在庫の有無については、担当の VIAVI アカウントマネージャー、あるいは VIAVI 1-844-GO-VIAVI (1-844-468-4284) に直接お問い合わせください。viavisolutions.jp/contactsに各地域の VIAVI 事業所の情報を記載しています。

利用可能な構成

注文コード	説明
MVBR-C1SS0-M100-MFA	シングル VBR シングルモードファイバー FC/APC タップなしオプション
MVBR-C1SS0-M101-MFP	シングル VBR マルチモードファイバー 50μm FC/PC タップなしオプション

アクセサリ

アクセサリ(オプション)		製品と説明
検査ツールとクリーニングツール	CleanBlastPRO	特許取得済みの VIAVI Solutions® CleanBlast ファイバー端面クリーニングシステムは、最も一般的なアプリケーションでコネクタからホコリおよびゴミを迅速に除去するための効果的で費用効率の高いソリューションです。
	FiberChek プローブ型マイクロスコープ	ワンボタン式の FiberCheck プローブは、あらゆるファイバーエンジニアにとって完全自律型で、ハンドヘルドの信頼できる検査ソリューションです。
	P5000i ファイバーマイクロスコープ	自動端面検査・分析プローブを利用すること、デスクトップコンピュータやノートパソコン、モバイル機器、VIAVI テストソリューション上で光ファイバーの合否判定を行うことができます。
交換用パーツ	接続用スリーブ	AC500:FC/PC-FC/PC 間ユニバーサルコネクタアダプター
		AC501:FC/PC-SC/PC 間ユニバーサルコネクタアダプター
		AC502:FC/APC-FC/APC 間ユニバーサルコネクタアダプター
		AC503:FC/APC-SC/APC 間ユニバーサルコネクタアダプター

VIAVI では、検査ツールも広範に取り揃えています。製品およびアクセサリの詳細は、当社のウェブサイト www.viavisolutions.jp をご覧ください。ご不明な点がございましたら、担当の VIAVI アカウントマネージャー、あるいは VIAVI (1-844-GO-VIAVI (1-844-468-4284)) に直接お問い合わせください。また、最寄りの VIAVI 事業所については、viavisolutions.jp/contacts をご覧ください。

VIAMI ケアサポートプラン

生産性を向上!最大5年間のご購入で VIAMI ケアサポートプランを追加

- 予想可能な低コストで最高のパフォーマンスを発揮するように機器を維持
- VIAMI の校正により、正確で再現性のある測定を保証
- サポートプランは、サービスを加速するための優先サービスと優先スケジューリングをお客様に提供
- シルバーケアには必ず、VIAMI に返送する校正が含まれますが、サポートプランをアップグレードして、可能な場合はオンサイト校正を含めることが可能

VIAMI ケアサポートプランのオプションの詳細は、最寄りの販売代理店にお問い合わせいただくか、viavisolutions.jp/viavicareplan をご覧ください。

特徴

プラン	目的	技術アシスト	工場修理	優先サービス	校正
メーカー保証	メーカー不具合の修理	スタンダードプラス	✓		
 BronzeCare	作業者の効率	プレミアム	✓	✓	
 SilverCare	保守と測定精度	プレミアム	✓	✓	✓